

## 学認クラウドオンデマンド構築サービス試用環境利用の手引き

### 1. はじめに

国立情報学研究所学術基盤推進部学術基盤課クラウド支援室（以下「クラウド支援室」という。）では、大学・研究機関が学術情報ネットワーク（以下「SINET5」という。）を介してクラウドを利活用するための支援を実施しています。その1つである学認クラウドオンデマンド構築サービス（以下「本サービス」という。）は、研究・教育用途でのクラウド利活用を促進するために、クラウド上のアプリケーション環境の構築を容易にするサービスです。利用には、各種申請やネットワークやクラウドの設定など、少なくない労力と時間が必要になります。そこで、本サービスがどのようなサービスかを確認していただくことを目的に、本サービスの試用環境（以下「試用環境」という。）を用意しました。

### 2. 対象ユーザ

大学・研究機関の正式な内部組織やプロジェクト（以下「利用グループ」という。）を対象とします。利用グループによる1回の申請で、利用グループに属する複数のメンバーが利用できます。なお、申請は利用グループの責任者が行ってください。

### 3. 試用環境

#### 3.1. クラウド支援室が提供する環境

クラウド支援室が所有する本サービス環境ならびにクラウド基盤の計算資源、ストレージ資源をご利用いただきます。試用環境にはチュートリアルがインストールされており、オンデマンド構築機能の基本的な利用方法を試すことができます。また、チュートリアルのテンプレートの改変や独自に開発したテンプレートの利用も可能です。なお、試用環境のクラウド基盤（以下「試用クラウド基盤」という。）は、Amazon Web Services となります。

試用環境の提供目的は、利用グループにとってオンデマンド構築サービスの利用が有効であることを確認していただくことです。このため、ご利用には以下の条件、注意事項があります。

- 利用可能なクラウド資源（インスタンス）タイプに限りがあります（別紙1参照）。この資源タイプだけでは有効性が判断できない場合はご相談ください。
- 試用環境では試用クラウド基盤の資源管理機能（プロバイダのポータル、CLI等）は利用できません。本サービスの資源管理機能をご利用ください。なお、正規環境では試用クラウド基盤の資源管理機能も利用可能です。
- 利用グループには試用クラウド基盤のアクセス管理されたユーザアカウントが1つ提供されます。複数のメンバーで利用する場合は、メンバー毎に異なる本サービスのアクセストークンを配布して利用してください。このアクセストークンは、本サービスの管理機能により発行できます。なお、複数のメンバーによる一つのアクセストークンの共有はしないでください。
- 本サービスでは、クラウドプロバイダとの接続として SINET 接続とインターネット接続をサポートしていますが、試用環境ではインターネット接続のみ利用可能です。

### 3.2. 利用グループに準備いただくもの

- 事前に準備いただくもの
  - 利用グループの試用環境管理者の設定と、当該管理者の学認 ID もしくは NII OpenIdP ID の弊所への通知  
(本サービスは複数人でご利用いただけますが、管理者を少なくとも1名設定する必要があります)
- 利用時に準備いただくもの
  - 以下の仕様を満たす端末
    - ◇ 所属機関のネットワークに接続されていること
    - ◇ インターネットにアクセス可能なこと（http ならびに https が利用可能なこと）
    - ◇ Web ブラウザが利用可能なこと（Chrome が望ましい）

## 4. 利用料金

利用グループに対する、本サービスならびに試用クラウド基盤の資源利用への負担はあ

りません。本研究所が負担します。

## 5. 試用期間

原則として、以下のいずれかに達した場合、試用期間終了となります。試用期間が終了すると、クラウド資源上のデータや本サービスのテンプレートは一切取り出しができなくなるのでご注意ください。

- クラウド資源利用料金が上限に達した

試用クラウド基盤の資源利用料金は本研究所が負担しますが、利用グループ毎に割り当てる利用料金と試用環境全体の利用料金には上限があります。

- 各利用グループのクラウド資源利用料金が上限に達した
- 全利用グループのクラウド資源利用料金の合計が上限に達した

- 毎月 5 日までに提出された申請は、クラウド支援室からお送りする試用環境準備完了メールから翌月の 20 日までご利用いただけます。なお、年度内の最終申請受付日は 1 月 5 日です。いずれの日付も、土、日、祝日の場合はその前の平日になります。

上記試用期間の終了条件に達していなくても終了することがあります。このため、必要な情報は常に各自でバックアップしてください。上記終了条件以外の試用終了については、「7. 利用ガイドライン」をご参照ください。

なお、利用可能なクラウド資源の利用料金は、提供準備完了通知でお知らせします。また、クラウド資源利用状況とおおよその利用料金は原則 1 日 1 回提供します（平日のみ）。計画的な利用をお願いします。

## 6. 申請方法

別紙 2 の「学認クラウドオンデマンド構築サービス試用環境利用申請書」に必要事項を記入し、下記のサブジェクト・宛先でメールにてお送りください。その際、所属機関のメールアドレスにて送信をお願いします。また、送信の際、必ず申請者（責任者）の所属機関おけるメールアドレスを CC に含めてください。利用者数が多い場合は、翌月以降の利用となることがありますのでご了承ください。

- サブジェクト： OCS 試用環境利用申請
- 宛先： cld-ocs-entry@nii.ac.jp

## 7. 利用ガイドライン

試用環境の利用ガイドライン（利用に当たって利用者が注意すべき事項を利用規程を引用する形で解説するもの）は、本サービスの利用ガイドライン「クラウド利活用支援サービス利用ガイドライン」

（<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/pages/viewpage.action?pageId=21455659>）に準じます。ここでは、本サービスと試用環境の遵守事項違いについてのみ説明します。これらに反した利用を認められた場合は、試用期間中であっても試用を停止することがあります。

- 本サービスの利用者は、所属機関が契約しているクラウドプロバイダの資源を使用することを前提としています。しかし、試用環境の利用者は、本研究所が契約している試用クラウド基盤の資源を使用します。このため、「クラウド利活用支援サービス利用ガイドライン」の利用規程第6条3項を除く各項において、「利用機関」を「試用環境の利用者（もしくは責任者）」と読みかえてください。
- クラウド資源の利用にあたっては、利用者のクラウド資源の利用は、所属機関のポリシーを遵守してください。また、所属機関のポリシーが許可していても、本試用環境の計算・ストレージ資源には、個人情報や秘密情報（研究データを含む）を格納しないでください。

## 8. サポート体制

試用環境のサポート窓口がメールによるサポートを行います。対応時間は以下の通りです。サポート窓口のメールアドレス、マニュアル格納先などは、試用環境の提供準備完了メールにてお知らせします。

- 平日 9:00～17:00

## 9. その他

試用期間終了後にはアンケートへのご協力をお願いします。

## 10. 担当連絡先・問い合わせ先

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術基盤課 クラウド支援室

E-mail: [cld-ocs-entry@nii.ac.jp](mailto:cld-ocs-entry@nii.ac.jp)

(別紙 1) クラウド環境の利用可能資源一覧

学認クラウドオンデマンド構築サービス（以下「本サービス」という。）試用環境（以下「試用環境」という。）では下表のクラウド資源（インスタンスタイプ）を利用できます。（利用できるインスタンスタイプは適宜変更される可能性があります。）なお、同時利用可能数は、試用環境のすべての利用ユーザによる利用数の合計が上限となります。1つのインスタンスタイプを上限以上に利用されたい場合及び下表のインスタンスタイプだけでは本サービスの利用有効性の確認ができない場合は、クラウド支援室までご相談ください。

また、1ユーザが下表の1つのインスタンスタイプにおいて同時利用可能数の上限まで利用した場合、直ちに当該ユーザに割り当てられた利用量の上限となることがあり、試用期間終了となりますのでご注意ください。

(参考)

利用量の上限の目安

インスタンスタイプ : m5.large (1 インスタンス)

ブロックストレージ : 100GB

利用時間 : およそ 360 時間

利用可能 OS : alpine linux, CentOS, Ubuntu

利用可能インスタンスタイプ

インスタンスタイプ	同時利用可能数 (全利用者合計)	インスタンスタイプ	同時利用可能数 (全利用者合計)	インスタンスタイプ	同時利用可能数 (全利用者合計)
標準サーバ		t3.nano	40	c5.4xlarge	2
t2.nano	40	t3.micro	40	c4.large	6
t2.micro	40	t3.small	29	c4.xlarge	3
t2.small	26	t3.medium	14	c4.2xlarge	2
t2.medium	13	t3.large	7	c4.4xlarge	2
t2.large	6	t3.xlarge	4	GPUサーバ	
t2.xlarge	3	t3.2xlarge	2	p2.xlarge	2
t2.2xlarge	2	大容量メモリサーバ		g3.4xlarge	2
m5.large	8	r4.large	5	ストレージサーバ	
m5.xlarge	4	r4.xlarge	2	h1.2xlarge	2
m5.2xlarge	2	r4.2xlarge	2	h1.4xlarge	2
m5.4xlarge	2	r4.4xlarge	2	i3.large	4
m4.large	6	計算性能サーバ		i3.xlarge	2
m4.xlarge	3	c5.large	9	i3.2xlarge	2
m4.2xlarge	2	c5.xlarge	5	i3.4xlarge	2
m4.4xlarge	2	c5.2xlarge	2	d2.xlarge	2

※試用環境ではスポットインスタンス、ならびにオブジェクトストレージ (S3) はご利用いただけません (本サービスではご利用いただけます)。

(別紙 2)

FORM-OCS-TRIAL-19071

学認クラウドオンデマンド構築サービス試用環境利用申請書

国立情報学研究所 学術基盤推進部 クラウド支援室長 殿

「学認クラウドオンデマンド構築サービス試用環境利用ガイドライン」を遵守し、次のとおり申請します。

◇申請日付:     年   月   日

◇申請内容 (選択してください)

新規

利用目的:

変更 (内容: \_\_\_\_\_ )

◇申請者 (研究室長など責任者であること)

・ 機関名:

・ 所属:

・ 職名:

・ 氏名:

(フリガナ)

・ email:

(email は所属機関のメールアドレスを記入してください)

◇オンデマンド構築サービス試用環境管理担当者

・ 機関住所: 〒

・ 所属:

・ 氏名:

(フリガナ)

・ email:

- ・学認 ID または NII OpenIdP ID:

◇接続情報

- ・ 端末ソース IP アドレス:  
(試用環境にアクセスする端末の IP アドレスレンジを記入してください。  
極力狭くお願いします)

◇備考

◇注意事項

- ・ 申請者は研究室長など責任者としてください。
- ・ 申請者のメールアドレスは必ず所属機関のメールアドレスとしてください。
- ・ 申請者のメールアドレスを必ず CC に含めてください (申請者本人が申請する場合においても)